

(別紙1)

【出前授業の指導案(例)】小学校6学年(道徳)指導案

(1) 題材 ある犬のおはなし

(2) ねらい 犬の飼育の在り方を、〈飼育者の責任や愛情〉〈問題解決の在り方〉〈動物福祉行政〉等に着目することから捉え、命の繋がりや生命尊重の大切さに気づくことができる。

学習活動	指導上の留意点	備考
<p>1 動物とのふれあい体験や飼育体験での感想を出し合う</p> <p>2 県内の犬猫の殺処分の数値を知る。</p> <p>3 「ある犬のおはなし」のスライドを視聴し、感想を出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">この犬のおはなしについて、どう思うか</div> <p>○犬がかawaiiそう。</p> <p>○悲しい。</p> <p>4 次の課題について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">生きたいのに生きられない、こんな悲しい犬を少しでも少なくするにはどうしたらいいか</div> <p>○飼い主が犬の気持ちを深く考える。</p> <p>○飼い主が責任を持つようにする。</p> <p>○飼う前に家族皆でしっかり考える。</p> <p>○動物の命について、家族で話し合う。</p> <p>○仕方ないのなら、引き取り者を探す。</p> <p>○新聞等メディアに引取り募集をかける。</p> <p>○国や県が決まりをつくらなければならない。</p> <p>6 課題に対する自他の考えを見直す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">飼い主の心が変われば、悲しい犬は少なくなるか。</div> <p>〈無くならない〉</p> <p>○飼主にもどうしようもないことが生じる。</p> <p>○これまでも無くならなかった。</p> <p>〈無くなる〉</p> <p>○飼主やこれから飼う人へ教育すれば。</p> <p>○決まりや法律をつくる。情報発信すれば。</p> <p>○専門機関に相談すれば(譲渡)。</p> <p>7 これからの自分の在り方について考える。</p>	<p>○動物とふれあった経験をいろんな立場から出させる。</p> <p>○楽しかったことが多く語られ、意識したところで、県内の犬猫殺処分数を提示する。</p> <p>○その多さに驚いたところで、犬の気持ちを考えて創られたスライドを視聴させる。</p> <p>○感じたことを素直に出させる。</p> <p>○実際に犬猫を保健所に持ち込んだ児童が居ることも考えられるので、そこは配慮して、場づくりをする。</p> <p>○〈飼育人の責任〉〈飼育人の愛情〉〈不可時の対処法〉等に着目した考えが出されることが推測されるので、共通点、相違点が明らかになるよう、板書に位置づける。</p> <p>○飼い主への非難に意見が集中したときは、重篤アレルギーや動物不可の転居等の例を示し、考えさせる。</p> <p>○仕方の無い状況が生じたときの対処方法としての経験を尋ね、無いときは動物譲渡案内に関する新聞記事を提示する。</p> <p>○飼い主としての自覚・責任に対する意見が多く出された時は、その視点からの見直しを図る。(意見の集中度で、「見直し」の問いを提示する。)</p> <p>○高学年とはいえ、法律や行政等に着目できにくいことも考えられ、その際は「動物愛護法」等の資料を示す。</p> <p>○特に「おおいた動物愛護センター」は平成31年開設であるので、その特性等も示し、考えの一助とさせる。</p> <p>○本時のまとめと振り返りを行う。</p>	<p>○プロジェクト</p> <p>○パワーポイント資料</p> <p>○黒板が無ければ、可動式ホワイトボード。</p> <p>○殺処分数値の資料(全国・大分県)</p> <p>○新聞記事(読者のページの犬猫関係)</p> <p>○「動物愛護法」の資料</p>

《道徳の内容》 D「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」

第5学年及び第6学年

◎生命が、多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。